

2023 年度上野千鶴子基金助成金最終報告書

1. 助成対象事業	「女性学・ジェンダー研究の発展に資する調査、研究、出版」
2. 事業の区分	「Seeds プロジェクト」
3. 氏名/団体名	KIM SUHYUN・京都大学社会学研究室
4. 事業名	日本と韓国の女性映画産業従事者の労働環境の比較研究
5. 助成額	
6. 事業実施期間	2023 年 12 月 1 日 2024 年 6 月 30 日
7. リンク	https://telling.asahi.com/article/15091926

8. 事業の目的

本事業の目的は、日本と韓国の女性映画産業従事者の労働環境の比較研究に於いて、日本と韓国の映画産業内の労働環境や動向を調査し、女性映画従事者の声を通じて労働環境に関する問題について語り合うフォーラムを開催しようとする。フォーラムの開催の後で関連論文を作成し、関連雑誌に提出する。

9. 実施内容

1) フォーラムの概要

題名：「女性映画産業従事者の声を聞く：日本と韓国の映画製作労働環境と動向」

日程：2023 年 12 月 16 日 10 時

場所：京都大学芝蘭会館

司会：KIM SUHYUN（京都大学文学研究科）

登壇者人数：11 名

登壇者名：福間美由紀（プロデューサー）、萬代ゆか（撮影担当）、森崎めぐみ（日本芸能従事者協会 代表理事）、July Jung（映画監督）、Lee Sun -young（撮影監督）、Kim Young（釜山大学教授）

来場人数：64 名

2023 年 12 月 16 日、「女性映画産業従事者の声を聞く：日本と韓国の映画製作労働環境と動向」という国際フォーラムが京都大学で開催された。本フォーラムでは、映画業界における女性従事者の労働環境やジェンダー格差について議論が交わされ、研究結果や実体験の共有が行われた。特に、映画製作現場における性暴力の問題が議題に上がり、「映画業界の労働実態調査 2022-2023」の結果からも、この問題を早急に解決する必要性が強調された。この問題は、産業の健全性を損ねるだけでなく、多くの従事者にとって深刻な課題となっている。フォーラムでは、ジェンダー格差や差別を克服するための具体的なアプローチについて意見交換が行われ、映画業界、行政、学界の連携が重要であることが確認された。また、韓国との比較調査やインタビューをもとにした研究論文が発表され、日本と韓国の映画製作労働環境の課題が明らかにされた。

2) インタビュー調査実施概要（京都、韓国の 2 回分）

①京都：

5 月 28 日午後 4 時：

インタビュー：萬代ゆか（撮影担当）

内容：日本の撮影現場での女性の仕事や区別と排除

②ソウル：

一次：6月28日午後5時：July Jung（映画監督）

内容：韓国の女性監督の2番目の作品制作のプロセスや投資の違い

2次：8月25日午後5時：Lee Sun -young（撮影監督）

内容：韓国の撮影現場での女性差別、撮影前のジェンダー教育、労働環境の変化

3) 2月22日オンライン報告会の実施概要

題名：「日韓女性映画産業従事者の声を聞く：映画製作労働環境と動向」

日程：2024年2月22日 19時

場所：Online

参加人数：25名（オンライン）

〈内容〉

フォーラムから2ヶ月経った今、京都で親交を深めた登壇者がオンラインで参集し、再度報告しながら意見交換をする。

〈報告者〉

キム・スヒョン（京都大学）、福間美由紀（映画プロデューサー）、萬代有香（撮影担当）近藤香南子（スタッフマネージャー）、森崎めぐみ（俳優・一般社団法人日本芸能従事者協会代表理事）、ジョン・ジュリ（映画監督）、キム・ヨン（釜山大学社会学教授）染 仁寶（岩手大学准教授）

〈コメント〉

坪井ひろ子（EU/UNESCO 文化的表現の多様性の保護及び促進に関する条約エキスパートファシリティ・メンバー）

上野千鶴子（認定NPO法人ウィメンズネットワーク理事長）

10. 事業の成果と自己評価

本フォーラムは、日韓両国の映画産業における労働環境の改善に向けた重要な一歩となり、大きな成果を上げたと評価された。特に、国際的な視点で労働環境を比較し、具体例を基に議論を進めたことは、今後の政策提言や実践的な改善策の土台を築くものとなった。また、フォーラムに参加した映画産業従事者たちが今後も連携を深め、継続的に改善活動に取り組む姿勢を示したことは、大変心強い成果である。さらに、女性映画従事者の団体設立に向けた動きも始まった。

しかし、依然として多くの課題が残っている。日韓両国において、映画産業の労働環境改善に向けた研究がまだ不十分であり、特にジェンダーに関する研究は非常に少ない現状である。日本では長時間労働の是正に向けた具体的な制度改革が急務であり、韓国では女性リーダーシップの促進に向けた積極的な取り組みが求められる。また、映画研究におけるジェンダー問題や女性差別に関する議論の拡充も必要である。さらに、ジェンダー教育の支援や柔軟な労働時間の確保を通じて、女性が働きやすい環境を整えるための研究と実践が重要となっている。

11. 成果物

- 1) メディアの露出：<https://telling.asahi.com/article/15091926>
- 2) 2024年3月28日、京都大学男女共同参画推進センター結果報告会
- 3) 研究結果の論文を『国際ジェンダー』学術誌に投稿予定（2024年12月）
- 4) 国際フォーラム 参加者：キム・スヒョン（京都大学）、ジョン・ジュリ（監督）福間美由紀（分福プロデューサー）、金ヨン（釜山国立大学）、ワダ・マルシアーノ・ミツヨ（京都大学）、ヤン・インシル（岩手大学）、近藤香南子（元助監督）、森崎めぐみ（日本芸能従事者協会代表理事）、
- 5) フォーラムの写真



- 5) 2/22 〈オンライン報告会〉日韓女性映画産業従事者の声を聞く:日本と韓国の映画製作労働環境と動向

日本芸能従事者協会主催

Arts Workers Japan

Online 報 告 会

アーティスト
勉強会
シリーズ #6

日韓女性映画産業従事者の声を聞く 日本と韓国の映画製作労働環境と動向

京都大学 岩手大学 上野千鶴子基金

2023年12月に京都大学で開催された上記フォーラムの振り返りの会です

無料 要申込 2024年2月22日(木)19:00-21:30

主 催：一般社団法人日本芸能従事者協会
協 力：京都大学社会学研究室